

鬼怒中だより 第12号

～地域から愛される生徒、地域に貢献できる生徒になろう～

平成31年2月26日

発行者 校長 野宮 隆

～生徒信条 自ら判断し、実行し、責任を持とう～

立春を過ぎ暦の上では春ですが、まだまだ朝夕寒い日が続きますが、すこしずつ日が伸びて春の訪れを感じられるようになってきました。2月ももう少しで終わり、本格的な春の到来もあと僅かです。また、来月早々には県立高校の一般入試、そして卒業証書授与式があります。3年生にとっては中学校生活の3年間の集大成の時期を迎えようとしています。3年生それぞれの門出であり、各自の未来に向けて大きく羽ばたく時でもあります。そのためにも、あともう少しの努力と辛抱です。辛い時を乗り越えてこそ喜びが大きくなるものです。「努力は裏切らない」この言葉を信じて頑張ってください。



【1年社会人に聞く会】

1月29日(火)に1年生のキャリア教育の一貫として、「社会人に聞く会」を開催いたしました。当日は10名の実社会で活躍されております社会人の方々に来校して頂き、働くことの意義や厳しさ、やり甲斐などを熱く語っていただきました。今回の経験を基に1年生は来年、各自の希望に応じて事業所を選択し、宮子チャレンジウィーク(社会体験学習)に参加することになります。その意味で、働くことの大切さを学ぶ大変有意義な機会であったかと思えます。今回学んだことをもとに実社会体験が出来ますことを祈っています。1年生頑張れ・・・



【1年保護者会の開催】

2月5日(火)に1年生の保護者会が開催されました。今回は、2年生に向けた進級の話と現在の生活・学習の様子について話がありました。よりよい2年生として今後大いに活躍が期待されている1年生でもあります。今回指摘された生活・学習の中での改善点は正し、良い点はさらに伸ばして行ってほしいと思います。また、現在の1年生が3年生となる時に、鬼怒中は創立40周年を迎えることとなります。節目の時の最上級生(学校の顔)となるという自覚を持って各自進級して欲しいと思います。よろしくお願いします。1年生期待しています。

【2年スキー教室の実施】



2月8日(金)に行われたスキー教室では、マウントジーンズ那須スキー場に日帰りで行き、生徒一人一人の経験歴や腕前でグループを3つに分け、インストラクターの指導のもと終日スキーを楽しんできました。一昨年那須では高校生の山岳部の事故等があり安全を祈っていましたが、天候にも恵まれ、全員無

事に帰校しました。スキーが初めての生徒もいましたが、十分にスキーを満喫し、滑れるようになって楽しい思い出を沢山持って帰ってきました。帰校した翌日は、筋肉痛で大変だったようでした。保護者の皆様送迎等では大変お世話になりました。ありがとうございました。



【 鬼怒地域学校園運営会議の開催 】

2月18日（月）に鬼怒地域学校園の運営会議が本校で行われました。今回は今年度の活動の振り返りと次年度の活動方針・活動内容の検討が主な協議内容となります。白熱した議論の中、協議が行われました。次年度の鬼怒地域学校園がさらに活性化し、小中連携が実りあるものとして、より発展していくことを祈っています。お世話になりました。



【 3年生を送る会 】

2月22日（金）に実行委員と1・2年の在校生の企画・運営による「3年生を送る会」が開催されました。3年生は、卒業まであと僅かなりましたが、今年の送る会のテーマは「輝く」です。会は、演劇部が後輩にバトンを繋ぐ劇に始まり、部活動の後輩達からのメッセージDVD画像、1・2年生の3年生への思いを込めた学年合唱、そして3年間の思い出を綴った映像などの催しが執り行われました。最後に記念品の贈呈のあと、3年生代表の挨拶を経て、お礼の3年合唱がありました。大きな歌声が体育館に響き渡り、本当に感動しました。そして暖かみのある催しに、心が熱くなりました。とても素晴らしい3年生を送る会となりました。在校生の皆さん企画・運営大変素晴らしかったです。本当ご苦労さまでした。

